

教科または領域	社会科
対象学年	小学校5年生
授業場所	パソコン教室
単元	私たちの生活と工業生産
単元の目標	我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展に关心をもつようとする。
単元の指導計画	<p>1次 身の回りの工業製品の中から自動車に关心を持つ (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車を観察し、種類や部品の多さに着目する。 <p>2次 自動車工業に関心を持ち、円滑に生産するための工夫を知る。 (10)</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真・イラスト・動画などから工場でどのようにつくられているか知る。(本時) 自動車の部品をつくる工場が自動車工場の注文に従って仕事を円滑に進めるために、いろいろな工夫をしていることを捉える。 自動車や部品がどのように運ばれていくのかを調べ、消費者の注文した自動車が届くまでの工夫を捉える。 自動車会社の工場が世界に広がっていることを捉え、自動車の生産の方法が変化していることについて知る。 ハイブリッドカーと普通車の違いを調べ、ハイブリッドカーが開発された背景を知り、開発の工夫や努力に关心を持つ。 これから自動車づくりについて関心を持ち、自動車の研究開発にどのように活かされているかを知る。 <p>3次 自動車以外の工業に目を向け働く人々の工夫や努力、働く喜びについて考える。 (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車から発展し、地域の素材を活かした化学工業について、働く人々の工夫や努力、化学工業を支える貿易や運輸の観点から調べ、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える。 金属工業に興味・関心を持ち、そこで働く人々の工夫や努力、喜びなどをさぐる。 身近な存在である食料品工業(冷凍食品工業)について意欲的に調べ、疑問などを解決しながら、そこで働く人々の工夫や努力、喜びなどをさぐる。また、友だちの発表や自分の発表のまとめを通して理解を深める。
本時のねらい	自動車工場の様子を知り、わかったことや写真・イラスト・動画などから自動車が次々に作られる秘密について調べる。
指導計画	導入 前時の復習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 自動車にどのような部品があつたのかを発表させる。(タイヤ・ハンドル・シートなど) ショックアブソーバーを分解した時のことを復習し、大きな部品は小さな部品から組み合わさつて作られていることを復習する。(ショックアブソーバーは部品約30個からできており、4本必要なので、ショックアブソーバーだけで120個の部品からなっていることをおさえる)
	展開 課題をつかむ。 <p>「自動車工場では小さな部品もつくっているのかな。また、どのように組み立てられているのかを学習しよう。」</p> <p>組み立て工程を観察する点をおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> どのような工程で自動車ができるかがっているのか。 各工程でどのようなことをしているのか。 組立ラインで働いている人の様子はどうか。 大きな部品を組み立てるための小さな部品(ネジ・バネなど)を作っているか。 各工程にどのような工夫があるのか。 <p>クルマ子どもサイト http://www.toyota.co.jp/jp/kids/car/index.html をみて、以上の点から「分かったこと・気づいたこと・思ったこと」ができるだけたくさんワークシートに書き込む。</p>
	まとめ 自分で調べたことをワークシートに書き込み、まとめる。 また、疑問に思ったこと、調べてみたいことをワークシートに書き込み、意見を交換しあう。
その他：	